

## 第6回 水俣学 若手研究セミナー

# 水俣病の現在と水俣学の試み

水俣学研究センターは、地域に根ざし現地に学び、水俣病という負の経験を将来に生かすことを目指して設立され、調査研究・教育に取り組んできました。今回のセミナーは、私たちのそうした取り組みをベースに、次の世代を担う若手研究者と「水俣病事件の現在」を共有し、共に学ぶことを目的に開催します。なお、水俣学のモットーである現地に学ぶことを大切に、座学ばかりではなく現地でのフィールドワークを大切にします。水俣病を直接研究テーマにするだけではなく、人類の負の遺産としての水俣病を学び、自分自身の研究活動に活かすことを目指す参加者を募集します。



2019年  
9月6日(金)  
～8日(日)

募集人数 15名  
受講料無料

\*水俣までの交通費及び水俣での宿泊費は各自でご負担ください

会場  
水俣学  
現地研究センター  
(熊本県水俣市浜町 2-7-13)

お問い合わせ先  
熊本学園大学  
水俣学研究センター

tel:  
096-364-8913

e-mail:  
minamata@kumagaku.ac.jp

FAX:  
096-364-5320

# プログラム概要

## 9月6日(金)

オプションツアー：  
水俣がはじめての人向けの水俣現地案内

開会式および趣旨説明、参加者自己紹介  
セミナー① 花田昌宣 (水俣学研究センター長)  
セミナー② 井上ゆかり (水俣学研究センター研究員)

## 9月7日(土)

特別セミナー 淡路剛久 (立教大学名誉教授)  
フィールドワーク：水俣病被害者聞き取り

各グループからの聞き取り成果報告  
受講者による討論会  
湯の鶴温泉での懇親会

## 9月8日(日)

セミナー③ 中地重晴 (水俣学研究センター事務局長)  
各グループでの議論

まとめのグループ報告と総合討論  
閉会式

## 講師陣と担当セミナータイトル



特別講師

**淡路 剛久** 立教大学 名誉教授

水俣病被害救済問題と  
訴訟の現状



**花田 昌宣** 熊本学園大学 教授  
水俣学研究センター長

いま、水俣はどうなっているか  
：研究の課題と展望



**井上 ゆかり** 水俣学研究センター  
研究員

表出できない患者たちの水俣病被害  
ー水俣病公式確認アンケート調査から



**中地 重晴** 熊本学園大学 教授  
水俣学研究センター 事務局長

水俣における水銀汚染の現状と  
水銀条約の日本と世界の課題

その他、フィールドワークでの案内等については、これら講師のほかに、水俣学研究センター関係者や水俣の住民が担当することがあります

## 応募資格・方法

応募資格：①大学院生あるいはPD、またはそれに相当する研究歴を有し、積極的に参加する意思を持つ者  
②大学などにポストを有する研究者で、水俣病に関心を有する者  
③卒業研究において水俣病等を課題としている学部生で、指導教員の推薦を得た者  
\*これらに該当しない場合はご相談ください

提出書類：①略歴書(所定の書式を使用、メールアドレスを明記)  
②自分の研究テーマ(1200字程度で記載、様式自由)

応募締切：2019年7月31日[水]

受講者の決定：8月上旬に通知します(定員を超えた場合は、応募書類にもとづき水俣学研究センターにおいて選抜とします)  
\*受講者はセミナーの全日程に参加することを前提とします  
\*セミナー開催期間中の宿泊について、1泊目は各自で手配をお願いします(宿舍の紹介はいたします)

## 応募・お問い合わせ先

〒862-8680 熊本県熊本市中央区大江2丁目5-1 熊本学園大学水俣学研究センター  
tel : 096-364-8913 / e-mail : minamata@kumagaku.ac.jp